

論説

2015年4月10日

子育て支援

「子育ては、父母も祖父母も、医療も福祉も教育も、みんなが関わる人づくり、地域づくり。震災で大変だったけど、みんなに育ててもらった楽しい思い出があれば、大きくなってもここで子育てしようって気になるんじゃないかしら」

先月には少子化社会対策大綱が閣議決定。遅まきながら、社会保障の中で手薄だった子ども・子育て分野の重点化へシフトしてきた。

を主人公にした「人づくり、地域づくり」の将来像を共有していきたい。

厚生労働省の全国集計によると、昨年4月時点の待機児童数は約2万1千人で、本県は193人。潜在的には全国に数十万人いるとみられる。

数値目標を掲げ、3人以上の子どもがいる多子世帯の負担軽減なども打ち出した。

自助を公助でカバーする多様なメニューが出そろってきただけに、新制度を積極的

地域みんなので描く未来

陸前高田市で地域子育て支援拠点「おやこの広場」を運営するNPO法人「きらりんぎっず」の伊藤昌子代表の思

い、少子高齢化が進む日本が描くべき未来でもあろう。

今月から、国の子ども・子育て支援新制度が始まった。

でも、社会の意識はどうだ

新制度では、保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「認定こども園」や、少人数保育サービ

「子育ては、父母も祖父母も、医療も福祉も教育も、みんなが関わる人づくり、地域づくり。震災で大変だったけど、みんなに育ててもらった楽しい思い出があれば、大きくなってもここで子育てしようって気になるんじゃないかしら」

先月には少子化社会対策大綱が閣議決定。遅まきながら、社会保障の中で手薄だった子ども・子育て分野の重点化へシフトしてきた。

を主人公にした「人づくり、地域づくり」の将来像を共有していきたい。

厚生労働省の全国集計によると、昨年4月時点の待機児童数は約2万1千人で、本県は193人。潜在的には全国に数十万人いるとみられる。

数値目標を掲げ、3人以上の子どもがいる多子世帯の負担軽減なども打ち出した。

「子育ては、父母も祖父母も、医療も福祉も教育も、みんなが関わる人づくり、地域づくり。震災で大変だったけど、みんなに育ててもらった楽しい思い出があれば、大きくなってもここで子育てしようって気になるんじゃないかしら」

先月には少子化社会対策大綱が閣議決定。遅まきながら、社会保障の中で手薄だった子ども・子育て分野の重点化へシフトしてきた。

を主人公にした「人づくり、地域づくり」の将来像を共有していきたい。

厚生労働省の全国集計によると、昨年4月時点の待機児童数は約2万1千人で、本県は193人。潜在的には全国に数十万人いるとみられる。

数値目標を掲げ、3人以上の子どもがいる多子世帯の負担軽減なども打ち出した。

「子育ては、父母も祖父母も、医療も福祉も教育も、みんなが関わる人づくり、地域づくり。震災で大変だったけど、みんなに育ててもらった楽しい思い出があれば、大きくなってもここで子育てしようって気になるんじゃないかしら」

先月には少子化社会対策大綱が閣議決定。遅まきながら、社会保障の中で手薄だった子ども・子育て分野の重点化へシフトしてきた。

を主人公にした「人づくり、地域づくり」の将来像を共有していきたい。

厚生労働省の全国集計によると、昨年4月時点の待機児童数は約2万1千人で、本県は193人。潜在的には全国に数十万人いるとみられる。

数値目標を掲げ、3人以上の子どもがいる多子世帯の負担軽減なども打ち出した。

「子育ては、父母も祖父母も、医療も福祉も教育も、みんなが関わる人づくり、地域づくり。震災で大変だったけど、みんなに育ててもらった楽しい思い出があれば、大きくなってもここで子育てしようって気になるんじゃないかしら」

先月には少子化社会対策大綱が閣議決定。遅まきながら、社会保障の中で手薄だった子ども・子育て分野の重点化へシフトしてきた。

を主人公にした「人づくり、地域づくり」の将来像を共有していきたい。

厚生労働省の全国集計によると、昨年4月時点の待機児童数は約2万1千人で、本県は193人。潜在的には全国に数十万人いるとみられる。

数値目標を掲げ、3人以上の子どもがいる多子世帯の負担軽減なども打ち出した。

「子育ては、父母も祖父母も、医療も福祉も教育も、みんなが関わる人づくり、地域づくり。震災で大変だったけど、みんなに育ててもらった楽しい思い出があれば、大きくなってもここで子育てしようって気になるんじゃないかしら」

先月には少子化社会対策大綱が閣議決定。遅まきながら、社会保障の中で手薄だった子ども・子育て分野の重点化へシフトしてきた。

を主人公にした「人づくり、地域づくり」の将来像を共有していきたい。

厚生労働省の全国集計によると、昨年4月時点の待機児童数は約2万1千人で、本県は193人。潜在的には全国に数十万人いるとみられる。

数値目標を掲げ、3人以上の子どもがいる多子世帯の負担軽減なども打ち出した。